

里山さんぽ楽々図鑑

企画 米山 愛

本文と写真 長谷川幹夫

はじめに

この図鑑は、2022年度に『親子で里山さんぽ～植物をみてふれてたべて、こども植物図鑑を作ろう～』と、せんだんの活性化協議会・富山森のこども園・合同会社シュシュ・富山福祉短期大学の共催で企画した自然体験プログラムを元に作りました。

砺波市梅檀野（せんだんの）地区の里山をフィールドとして、四季を通して、親子でおさんぽしながら見つけた植物を、

植物博士の長谷川先生に同定していただき、図鑑にしました。

携帯版「せんだんの里山さんぽ植物図鑑」を、さらに詳しくまとめた楽々図鑑をお楽しみください

調査と記載

【調査】調査は2022年4月から11月まで、増山城址で7回、上和田キャンプ場で7回、せんだんのhillで4回行いました。同定や種名が不確定なものもあるので、順次改定していきたいと思います。ご意見ご要望がありましたら、お寄せください。

【仲間】分類学での科・属であったり、形が似ていたり、生育特性が似ていたり、利用法が似ていたりしている種を「仲間」としています。仲間を知ることによって知識の幅が広がります。Web版では50の仲間の中に約190種が詰め込んであります。

【選択と配列】3か所で合計380種ほど記録されましたが、主要な約50の仲間を選んで解説しました。その仲間は、よく見かける、利用上興味深い、希少性がある、花が目立つといった基準で選びました。

場所ごとに、旬の季節順に並べました。植物は、立地の明るさで生育する分布が異なります。キャンプ場とせんだんのhillは、明るい草地で生育する種が、増山城址はやや暗い森林内に生育する種が多いです。

この図鑑は増山地区という特定の場所で作られたものですが、立地の分け方に従えば、ほかの場所でも応用できます。

植物の利用法やはたらきを記していますが、食べたり、薬に使ったりするなど、利用にあたっては充分注意してください。

	上和田 キャンプ場	増山城	せんだん のhill
調査日 写真撮 影日	220427	220427	
	220516	220516	
	220604		
	220617	220617	220617
	220909	220908	
		221009	
	221027	221027	221027
	221125	221125	221125

上和田キャンプ場 せんだんのhill

春から夏へ



セリ

セリ科 セリの仲間



セントウソウ



ミツバ左とウマノミツバ右



ヤブニンジン



ノダケ
の果実

- セリは春の七草の一つ。キャンプ場の水辺に生育する。地名の「せんだんの」は「せりたに」が変化したものという。種名は春に競り合って芽生えるから。
- 食用のミツバはお城の林内に生育。葉が五つに分かれるウマノミツバは誤食しない方がよい。
- キャンプ場に大型のノダケが、お城に繊細なヤブニンジン・セントウソウなどがある。
- いずれも葉が複雑に切れ込み、繊細な花が多い。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城址
セリ ノダケ		○	
ミツバ ウマノミツバ			○
ヤブニンジン セントウソウ		○	○
ヤブジラミ	○		4

キンポウゲ科

キンポウゲの仲間

ウマノアシガタ



↑キツネノ
ボタンとケ
キツネノボ
タン→



ニリンソウ

- ウマノアシガタは、キンポウゲともいう。黄色の花弁はキラキラ艶があり、春の草地を彩る。有毒。園芸種ラナンキュラスの仲間。
- 湿地にキツネノボタン、林床でケキツネノボタンがあり、よく似ている。
- ニリンソウは林床で春だけ出現する「春の妖精」。こちらは、アネモネ。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城址
ウマノアシガタ		○	
キツネノボタン			○
ケキツネノボタン		○	
ニリンソウ			5 ○

シソ科

カキドオシとヒメオドリコソウ



カキドオシ



ヒメオドリコソウ

- カキドオシは、春に薄紫の花を咲かせるシソ科の多年草。ランナー（走出枝）を出して、広がり垣根を通していくから、この名がある。丸い葉もかわいい。糖尿病の民間薬。
- 同じシソ科のヒメオドリコソウは、開けた場所に咲く外来種。よく広がり、春早くから夏まで長く咲いている。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城址
カキドオシ		○	
ヒメオドリコソウ		○	

アサツキとノビル



アサツキ



ノビルの花とムカゴ

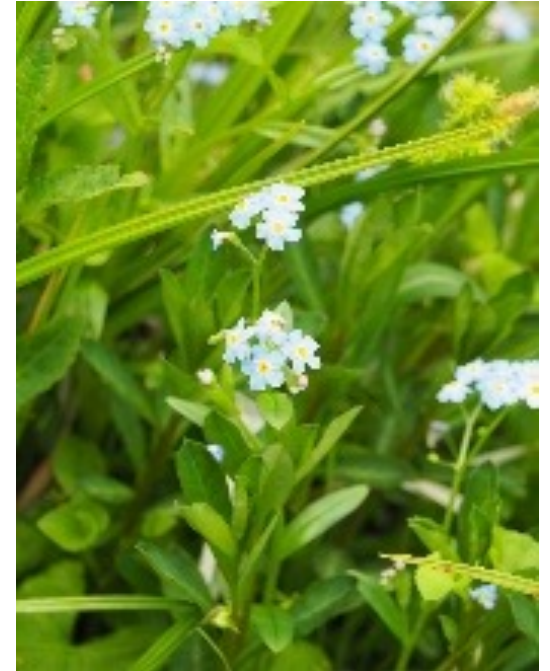
- アサツキは、ネギの原種。春の味覚。
- ノビルは球根を食べる。むかごがつき、繁殖する。
- 葉の横断面の形が、アサツキでは丸いのに対し、ノビルは三角。

地域での分布 種名	せんだ んのhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
アサツキ		○	
ノビル	○		

キュウリグサとシンワスレナグサ



キュウリグサ



シンワスレナグサ

- キュウリグサは、野原や道端に咲く可憐な花。花はらせん状に付く。汁にきゅうりの匂いがあるのでこの名がある。
- キャンプ場の水辺に、花が大きく美しい外来種のシンワスレナグサが生育する。この種は「勿忘草をあなたに」の歌にもなっている。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
キュウリグサ	○	○	
シンワスレナグサ		○	

サギゴケなど草地の小さな花



サギゴケ



コメツブツ
メクサ



ニワゼキショウ



オオイヌノフグリ



コナスビ

- サギゴケは、草地や道端で地面を這う紫色の花。「そっとのぞいて見てごらん」小さいけれど美しい。
- 似た形に、サギゴケ科のトキワハゼ・オオバコ科のオオイヌノフグリ（青色）タチイヌノフグリ・アヤメ科ニワゼキショウ（白～紫：アヤメらしくない）やマメ科コメツブツメクサ（黄色）、サクラソウ科のコナスビ、ウコギ科のチドメグサなどがある。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
サギゴケ		○	
オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ		○	
ニワゼキショウ	○	○	
コメツブツメクサ		○	
コナスビ		○	
チドメグサ	○		

ハハコグサとチチコグサ



ハハコグサ



チチコグサ

- ハハコグサは、春の七草の「オギョウ」。白い産毛を全身にまとい、薄い黄色の花もやさしげ。草地に張り付いて生きる。
- よく似たチチコグサは薄茶色。
- もう一つのキク科の七草「ホトケノザ」はコオニタビラコであり、その近縁であるヤブタビラコがhillで見られる。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ハハコグサ	○		
チチコグサ	○	○	
ヤブタビラコ	○		

ケシ科 ムラサキケマンと二年草

ムラサキケマン



レンゲソウ



ナノハナ

マツヨイグサ

- ケシ科ムラサキケマンは、草地で春を彩る紫色のケシ科の二年草。
- 二年草とは、夏に芽生えて冬を越し春に開花結実して枯れる。越年草ともいう。
- この生活史の草にはムギ・ナノハナ・レンゲソウ・マツヨイグサ・オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリや春の七草のコオニタビラコ（田平子）やハコベなど。草地には多い。越冬の形は地面にへばりついて、葉がバラの花ように開くのでロゼットという。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
ムラサキケマン		○	○
レンゲソウ		○	
マツヨイグサ			○入口
ナノハナ		○	

キク科

春の黄色いキク科

コウゾリナ



ブタナ

ニガナ



フキ

- いずれも春に咲く黄色いキク科の多年草。
- ブタナはフランス語の「豚のサラダ」を訳したもの。コウゾリナは、剛毛がかみそりのようにザラザラするから。
- ブタナは外来種。
- 早く咲くフキノトウはフキの花。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
コウゾリナ		○	
セイヨウタンポポ	○	○	
ブタナ		○	
ニガナ		○	
フキ	○	○	

バラ科

ヘビイチゴの仲間



ヤブヘビイチゴ



ヘビイチゴ



オヘビイチゴ



ヒメヘビイチゴ

- 春に鮮やかな黄色い花を咲かせ、真っ赤な苺を生らせる。地面を這う多年草。「ヘビイチゴ」と名の付く種が4つもあるのがビックリ！
- ヘビイチゴ・ヒメヘビイチゴ・ヤブヘビイチゴは3葉。
- オヘビイチゴだけ5葉で立ち上がる。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ヘビイチゴ		○	
ヒメヘビイチゴ			○
ヤブヘビイチゴ			○
オヘビイチゴ		○	13

スミレの仲間



アリアケスミレ



スミレサイシン**



ツボスミレ

- みんなが知ってるスミレの仲間。周辺には8種が自生する。
- 草地にはスミレ・アリアケスミレ・ツボスミレが、林床にはアオイスミレ・タチツボスミレ・スミレサイシンが、湿地にはオオタチツボスミレが生育する。
- スミレ類のタネは、アリによって散布されるので、アリの巣の近くで群生することがある。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
アリアケスミレ スミレ		○	
スミレサイシン タチツボスミレ アオイスミレ			○
ツボスミレ		○	○
オオタチツボスミレ		○	

ハコベの仲間



ミドリハコベ



サワハコベ



ノミノフスマ



ウシハコベ

- ハコベ（ミドリハコベ）は春の七草。小鳥も好んで食べる。
- ウシハコベは最大だが、それでも高さ20cm。
- ノミノフスマは無毛だが、オランダミミナグサは毛深い。
- オランダミミナグサのみ外来種。
- サワハコベは林内の谷に、苔などとともにひっそりと生える。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ミドリハコベ			○
ウシハコベ		○	○
ノミノフスマ			○
オランダミミナグサ		○	
サワハコベ			○

ハルジオンとヒメジョオン・フランスギク



ハルジオン
蕾が垂れる



ヒメジョオン



フランスギク

- いずれも園芸品として導入された外来種。漢字では春紫苑と姫女苑。草地に群生し春を彩る。
- どちらかというと、ハルジオンは春、ヒメジョオンは初夏に咲く。
- ハルジオンは、蕾が垂れる、茎の芯が空洞などで区別でヒメジョオンと区別できる。
- フランスギクは華やか。花占いができるかも。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ハルジオン	○	○	
ヒメジョオン	○	○	
フランスギク		○	

イネ科

イネの仲間



コバンソウ



チガヤ



コメガヤ



ハナヌカススキ



ススキ



イグサ科スズメノヤリ

- 風媒花で派手ではないが、小判をぶら下げたようなコバンソウ、綿毛が柔らかいチガヤ、地表を雲のように被うハナヌカススキなどおもしろい。
- ご存知ススキもイネ科、名が可愛らしいコブナグサは草木染に。カモガヤ、クロコヌカグサ、イヌムギは牧草。有用植物も多い。
- 明るい草地に多いが、林床には、チヂミザサ・コメガヤが生える。
- キャンプ場で群生するスズメノヤリは、よく似ているが、イグサ科。
- これらの草は、定期的に草刈りすることで維持される。

地域での分布 種名	せんだ んのhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
コバンソウ チガヤ ハナヌカススキ		○	
コブナグサ コメガヤ チヂミザサ			○
スズメノヤリ		○	

ケナシヤブデマリとガマズミ



ケナシヤブ
デマリ



ガマズミ

- ケナシヤブデマリは、水辺に生育する低木。初夏に装飾花の付いたアジサイのような花を咲かせるが、アジサイではなく、ガマズミの仲間の（ガマズミ科）。実は赤から黒に変わり、鮮やか。葉も大型。
- 少雪地のタイプでは枝葉に毛が密生するのに対し、雪国では毛が少ないため、この名が付いた。園芸品のオオデマリは、本種から育成されたもの。
- ガマズミは林縁に生える低木。こちらは装飾花はない。赤い実は果実酒などに。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城 址
ケナシヤブデマリ		○	○
ガマズミ			○

コウライテンナンショウ



- 林内や草地で独特の花を咲かせるサトイモ科の草。棒状の花序が、奇妙な形の仏炎苞で被われる。
- 秋にはよく目立つ真っ赤な実を生らせる。
- ヒロハテンナンショウなどもあるが、正確な同定は難しい。コンニャクの仲間。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
コウライテンナ ンショウ		○	○
ヒロハテンナン ショウ		○	○

クサスギカズラ科



- 真夏を彩る花。
- ツユクサ科のツユクサは、青い花をいっしょに咲かせる。一年草。草木染。紫に友禅や白のし。花の下の絵。はが描が。
- クササギ科のクササギは、花をいっしょに咲かせる。一年草。草木染。紫に友禅や白のし。花の下の絵。はが描が。
- クササギ科のクササギは、花をいっしょに咲かせる。一年草。草木染。紫に友禅や白のし。花の下の絵。はが描が。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ツユクサ	○	○	○
ツルボ		○	

イラクサ科

クワ科

カラムシとアカソ・ヤマグワとヒメコウゾ



カラムシ
(アオソ)



アカソ



ヒメコウゾ



ヤマグワ

- カラムシは、林縁や川原などに生育する大型の多年草。古来より重要な繊維植物。茎（昔はからといった）を蒸して繊維をとったから、この名がある。別名アオソ・苧麻など。
- 仲間のアカソも繊維植物。青と赤の対比がおもしろい。
- イラクサ科に近縁のクワ科のコウゾ（ヒメコウゾ）も、ご存知、和紙の原料、ヤマグワはお蚕さんを養い絹を作る。やはり繊維と関わるのはおもしろい。桑の実甘い。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
カラムシ		○	○
ヤマグワ	○	○	
ヒメコウゾ アカソ			21 ○

増山城址

春から夏へ

オウレン



オウレン**

- 林床に生える常緑の草本。早春に可憐な白い花を咲かせる。
- 黄色い根茎は胃腸薬となり、かつては広く栽培された。増山城でも栽培されていたかも。



増山城址の入口
の群生（果実）

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
オウレン			○

ウマノ
スズク
サ科

ヒメカンアオイとショウジョウバカマ

センリョウ科 フタリシズカ

シュロソウ科



ヒメカンアオイ



フタリシズカ

- いずれもも林床でひっそりと生きている多年草。
- ヒメカンアオイは常緑、花は黒褐色で地面に張り付き目立たないが、よくみると渋い。タネはアリが運ぶ。ギフチョウの食草。そっと覗いてみてごらん、ギフチョウの卵が産んであるかも。
- ショウジョウバカマも常緑、典型的なロゼット型。早春にピンクの美しい花を咲かせ、タネは極小、風で飛ばす。葉の先端に芽を付けて、栄養繁殖もする。
- フタリシズカは、白い穂状の花。

ショウジョウバカマ**

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城址
ヒメカンアオイ			○
ショウジョウ バカマ			○
フタリシズカ			○ 24

ウコギ科の山菜



タカノツメとコシアブラ



ウド

タラノキ



ヤマウコギ

- 増山城址にはウドが多い。「ウドの大木」は2m位になり、その花実は花火のよう。
- タラノキ・コシアブラ・ヤマウコギ・タカノツメも、増山城址に全てある。お城でも食べられただろう。

地域での分布 種名	せんだ んのhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ウド タラノキ タカノツメ コシアブラ ヤマウコギ			○ 25

イラクサ科の山菜



↑春のウワバ
ミソウと
秋のムカゴを
付けた姿→



ヤマトキホコリ



ミズ

ヤマトキホコリの群生

- ・ ウワバミソウは、富山県ではヨシナといった方が有名。秋には、葉の脇にむかごが付く。増山城址の湿った林内に多い。
- ・ 茎が赤っぽい春に開花するウワバミソウに対して、茎が緑色で夏に開花するヤマトキホコリも多い。
- ・ 山で時に誇る（繁茂する）から、この名がある。
- ・ いずれも美味。瑞々しいミズやアオミズもこの仲間。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ウワバミソウ			○
ヤマトキホコリ			○
ミズ		○	26

シソ科

フウロソウ科

キランソウとゲンノショウコ



- いずれも薬草。
- キランソウは、春の林床に、地味だが美しい紫の花を咲かせるシソ科の多年草。
- 咳止め等の薬効があるため、ジゴクノカマノフタ（地獄の釜の蓋が閉まって生き返る）、キンコツソウ筋骨草（節々の痛みにも効く）、イシャダオシという地方もある。
- ゲンノショウコは、夏に開花。開けた場所に多い。胃腸薬として有名。ゼラニウムの仲間。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
キランソウ			○
ゲンノショウコ			27 ○

サルトリイバラとシオデ



サルトリイバラ



シオデ



- サルトリイバラは、とげのある木本のつる植物。花は目立たないが、実は赤く美しい。大きな丸い葉は餅などをくるむのに使われる。
- シオデは多年草。新芽は美味しい。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
サルトリイバラ			○
シオデ		○	○

バラ科 ヤマブキショウマ と
ユキノシタ科 トリアシショウマ



ヤマブキショウマ



トリアシショウマ

- ヤマブキショウマは、林縁で初夏に繊細な白い花を咲かせる多年草。葉にヤマブキのような細かいしわがあるため、この名がある。芽生えは食用。
- トリアシショウマは、よく似ているが、ユキノシタ科で分類学的には縁遠い。ヤマブキショウマの花序の方がより繊細。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ヤマブキショウ			○
トリアシショウマ			○

アヤメ科

ショウガ科

シャガ と ミヨウガ



シャガ



ミヨウガ

- どちらも大陸から大昔にやってきて、無性繁殖で繁栄している。花は咲くが、ほとんどタネはない。林内で繁茂し存在感がある。
- ミヨウガはショウガ科の多年草。ご存知、独特の香りの野菜。
- シャガは花が美しいアヤメ科の多年草。履歴の似た花に、ヒガンバナがある。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
シャガ			○
ミヨウガ			○

アジサイの仲間



エゾア
ジサイ



アジ
サイ



イワガラミ

ガクアジサイ

- エゾアジサイは、林内で初夏を彩る野生のアジサイ。ヤマアジサイともいう。
- 園芸品種として、キャンプ場にはガクアジサイが、お城の入りにアジサイが植えられている。
- 城址には大型のつる植物イワガラミがケヤキなどの大木に絡んでいる。
- いずれも装飾花は秋まで残り、ドライフラワーなどで楽しめる。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城 址
エゾアジサイ			○
アジサイ			○
ガクアジサイ		○	
イワガラミ			31 ○

オオナルコユリ と ホウチャクソウ



オオナルコユリ



チゴユリ**

- ・ オオナルコユリは、肥沃な場所では、高さ1m位になる多年草。白い清楚な花を鳴子のように垂らし、秋には黒く丸い液果を生らせる。芽生えは美味しい山菜。「山アスパラ」とも。まさにアスパラガスの仲間。
- ・ 林内で似た種にミヤマナルコユリがある。
- ・ ホウチャクソウは、お城の林床で50cm位になる多年草。花が、お堂や仏塔の屋根の四隅から垂れ下がる「宝鐸＝ほうちゃく」に似ているから、この名がついた。
- ・ 芽生えが、食べられるナルコユリに似ているが、ホウチャクソウは有毒なので要注意。
- ・ 同じ仲間のチゴユリはもう少し小さく、名前は稚児百合から。

ホウチャクソウ

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
オオナルコユリ ミヤマナルコユリ			○
ホウチャクソウ チゴユリ			○

キョウチクトウ科

テイカカズラ

ウコギ科

と キヅタ



テイカカズラと
落ちた花



キヅタ

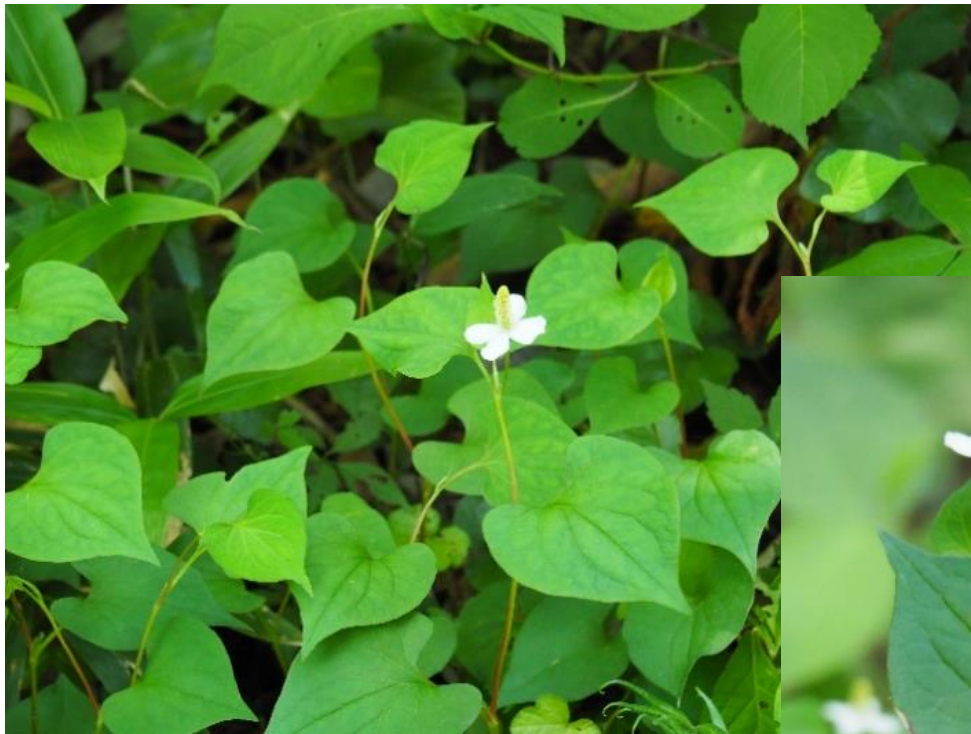
- どちらもお城のスギの幹などを這い登る常緑のつる。
- キョウチクトウ科テイカカズラは、初夏に風車のような白い花を咲かせる。秋には赤いコンパスのような果実を生らせ、冠毛の付いたタネは風に飛ばされる。
- テイカの名は歌人の藤原定家の執念が式子内親王の墓につるとなって絡みついたという能にちなむ。暗い林内で咲く白い花は怪しげな雰囲気がある。
- 同様な常緑のつるとして、ウコギ科のキヅタがある。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
テイカカズラ			○
キヅタ		○	○

ドクダミ科

ウリ科

ドクダミ と アマチャヅル



- どちらも民間薬。お茶にして飲む。
- ドクダミは、草地から林内までどこにでもある多年草。群生し白い花は清々しいが、独特の匂いが毒を連想させるため、この名がある。
- 「毒を消す」作用もある。中国雲南省では地下茎を生で常食する。歯切れが良く、香りもクセになる。
- アマチャヅルは、半日陰に生えるウリ科のつる。

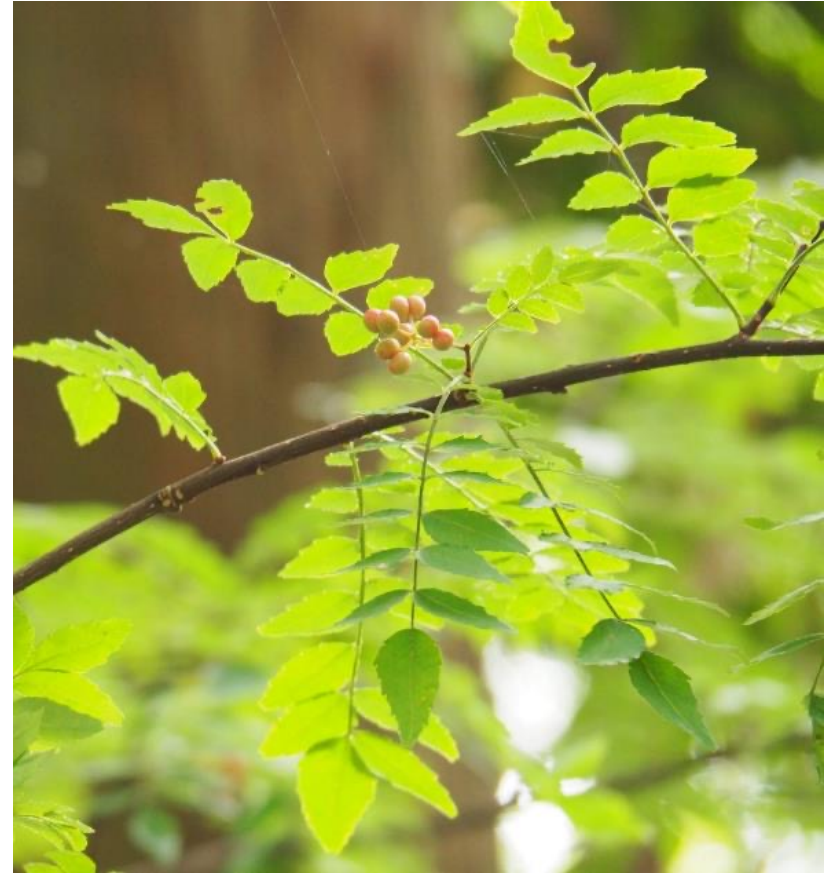
地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ドクダミ	○	○	○
アマチャヅル		○ 34	○

ミカン科

サンショウ(アサクラザンショウ)



アサクラザンショウ



- 林内に生えるミカン科の小高木。
- 「木の芽」や若い実は重要な香辛料。
- 幹はすりこ木になる。
- とげの無いタイプをアサクラザンショウという。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
アサクラザン ショウ			○

上和田キャンプ場 せんだんのhill

秋

アケビ科

アケビとミツバアケビ



アケビの花と果実

左上：雄花

左下：雌花



ミツバアケビの果実

- どちらも新芽・果実は食用。つるは良質なつる細工に。
- 小葉5枚がアケビ、3葉はミツバアケビ。hillを囲むオニグルミ等に絡まっている。

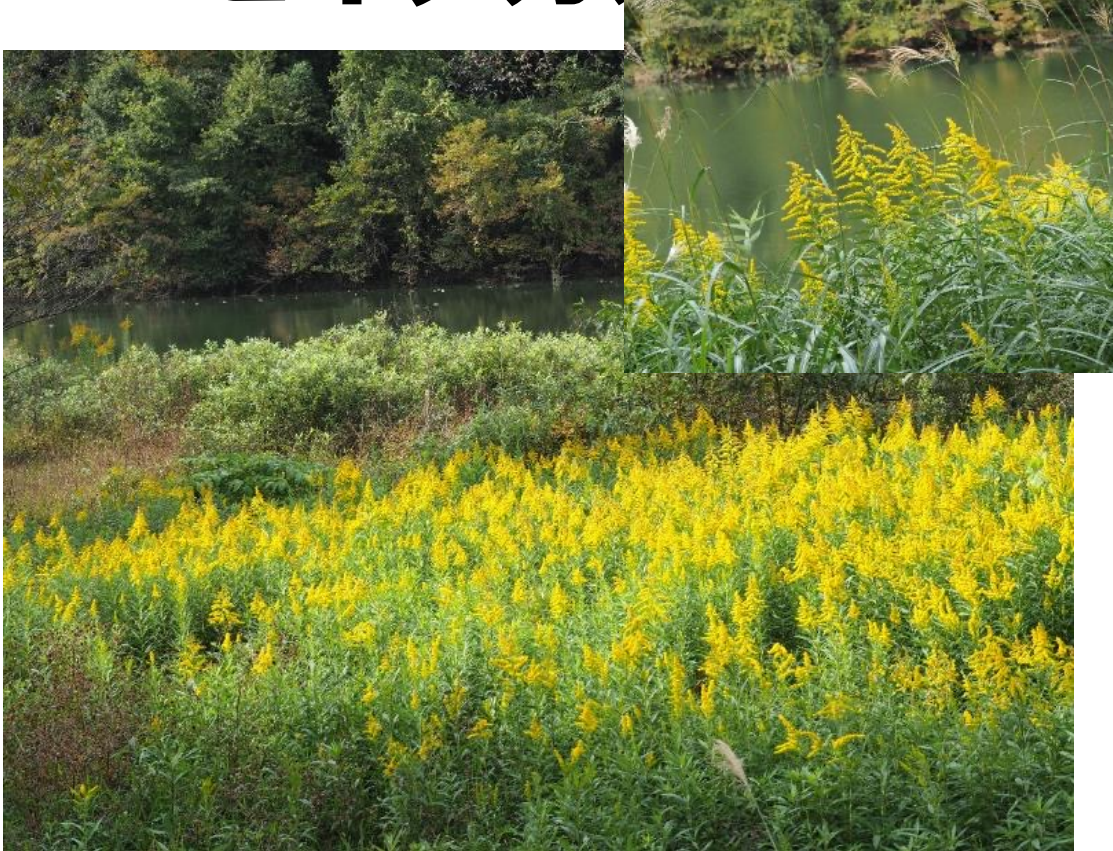
地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
アケビ	○	○	○
ミツバアケビ	○		

キク科

セイトカアワダチソウ

イネ科

と ヨシ



セイトカアワダチソウ



キャンプ場の水辺のヨシ

- 荒地で繁茂する外来種。花が美しいので園芸品として持ち込まれたものが、その繁殖力の強さで広がった。しかし、森林には侵入しない。
- 秋、キャンプ場の水辺を、ヨシなどともに彩る。花粉症は濡れ衣を着せられただけで原因ではない。
- 新芽は食べられる。虫媒花でアメリカでは秋の蜜源植物として重要らしい。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
セイトカアワダ チソウ	○	○	
ヨシ		○	

ヌマトラノオ・ハツカ・ミソハギなど 水辺を彩る夏から秋の花

ヌマトラノオ



ハツカ



ミズタマソウ



ミソ
ハギ



カクトラノオ

- ・ シソ科ハツカはハーブ。サクラソウ科のヌマトラノオ・ミソハギ科のミソハギも水辺を彩る。ミソハギは、盆花として貴重。
- ・ ミズタマソウは、湿地に生育する30～50cmになるアカバナ科の多年草。果実に白い毛が密生し、逆光で見ると水玉のよう。小さいけれどひっきりん。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
全種		○	

ツリフネソウ



ツリフネソウの
花と実↓
左が開いた果実



- 水辺に生える一年草。真夏に「船を釣った」ような紫色の花を咲かせる。
- 秋に細長い果実をそっと触ってみよう。果実はくるっと丸まって、小さなタネを弾き飛ばす。インパチエンス。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ツリフネソウ		○	40

野菊の仲間



ノコンギク



ユウガギク



ヨメナ



タカサブロウ

- いわゆる野菊。青紫色のノコンギク・ヨメナ・ユウガギクが明るい草地や水辺に生育し、白色のシラヤマギクは林床に生える。
- 前3種はよく似ているが、花の中の綿毛（冠毛）の長いのがノコンギク、冠毛がごく短く葉が切れ込むのがユウガギク、切れ込まないのがヨメナ。
- ユウガギクは漢字で柚香菊と書き、葉をもむと柚の香りがするという。
- 湿地にタカサブロウがある。名がおもしろい。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城址
ノコンギク	○	○	
ヨメナ		○	
ユウガギク	○	○	○
シラヤマギク			○
タカサブロウ		○	41

マユミ と コマユミ



マユミ



コマユミ



- マユミは、水辺に生える落葉小高木。秋に鮮やかなスカーレットの実を生らせる。材はよくしなり弓に適したからこの名がある。
- コマユミがhillに植えられ、これも赤い実が美しい。低木。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城址
マユミ		○	
コマユミ	○		○

ワルナスビとヒヨドリジョウゴ



ワルナスビ



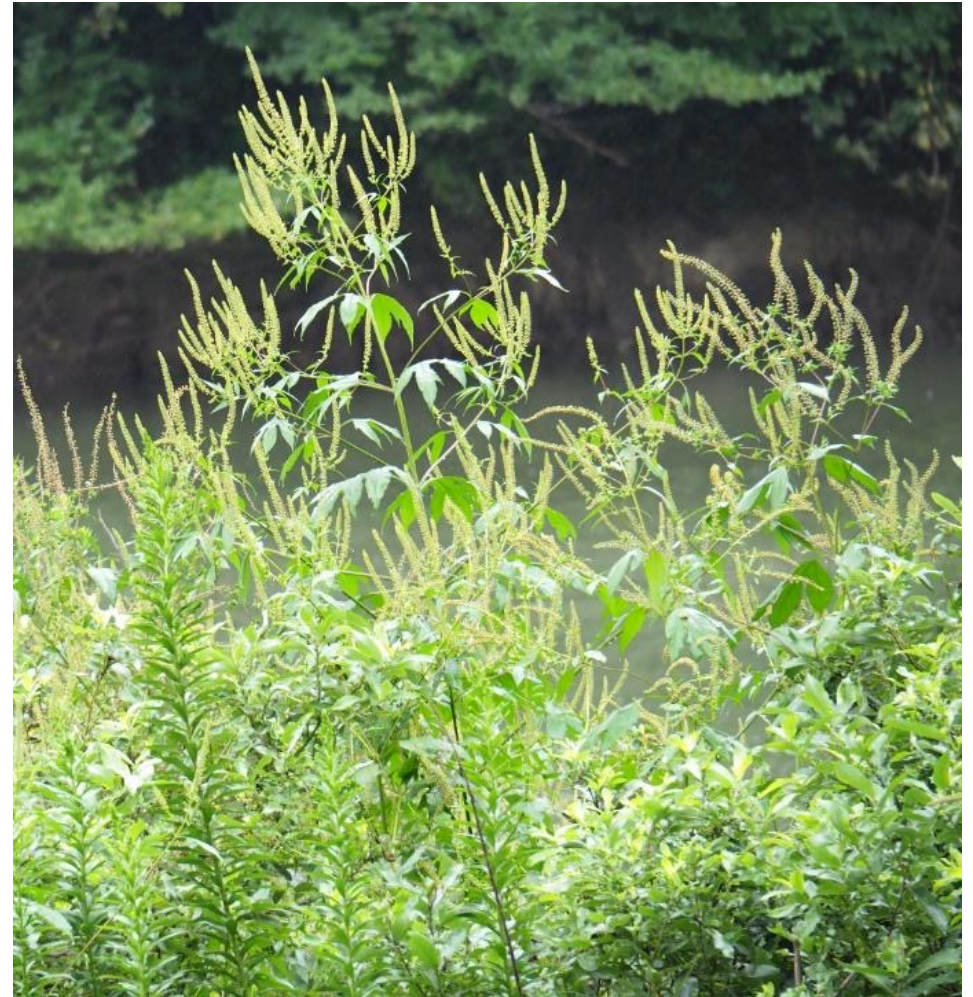
ヒヨドリジョウゴ

- どちらもナス科の多年草。ナス科にはピーマン・ジャガイモ・トマトなど有用植物が多いが、毒草も多い。
- 「きれいなバラにはとげがある」ワルナスビは、とげがあり荒地でも繁殖力が強いので評判が悪い外来種。とげに注意して、きれいな花を觀賞しよう。
- 同じナス科のヒヨドリジョウゴは、藪の中で赤く実る。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ワルナスビ		○	
ヒヨドリジョウゴ		○	

キク科

ヨモギとオオブタクサ



- どちらもキク科の高茎草本。風媒花で花は目立たない。秋の花粉症の原因にも。
- ヨモギは、おなじみの餅草。お灸のもぐさにも。多年草。
- オオブタクサは外来種で高さ1.5m位になるが、一年草。一夏でこんなに大きくなる。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
ヨモギ		○	○
オオブタクサ		○	44

キンミズヒキとダイコンソウ



キンミズヒキ



ダイコンソウ

- どちらもバラ科なのに、名前は他の科の植物からの借り物。
- キンミズヒキは、草地に咲く黄色の可憐な花。名は細長く咲く姿が「金色（黄色）のミズヒキ（タデ科）」に似ているため。
- ダイコンソウの名は、葉が大根（アブラナ科）に似ているため。
- 果実はひっつきむし。草もみじも味がある。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
キンミズヒキ		○	○
ダイコンソウ		○	

增山城址

秋

フユイチゴ と モミジイチゴ



フユイチゴ



モミジイチゴ**

- フユイチゴは、寂しくなる初冬の林内を赤く賑やかせてくれる。林内を這う常緑のつる。とげは痛いので要注意。
- お城には、同じ木苺のモミジイチゴがある。果実はオレンジ色で初夏になる。低木性。同じくとげが痛い。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城址
フユイチゴ			○
モミジイチゴ			○

アキギリ と アキノタムラソウ



アキギリ



アキノタムラソウ

- アキギリは、湿った林床に生える。桐のような葉を持ち、新芽は食べられる。秋には、桐のような紫色の花が咲く。
- 同じく林床で秋に咲くシソ科の花として、アキノタムラソウなどがある。

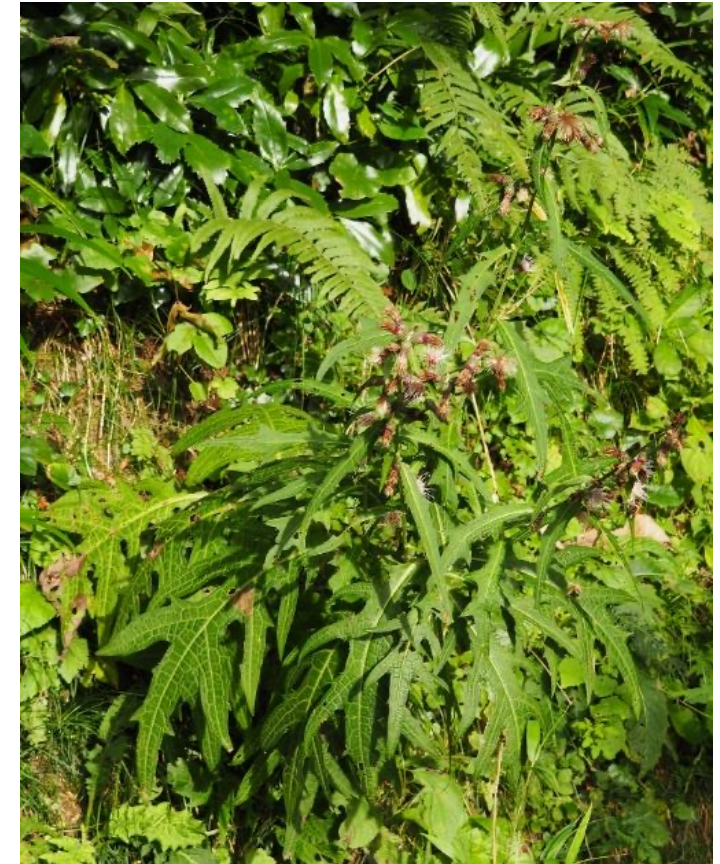
地域での分布 種名	せんだ んのhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
アキギリ			○
アキノタムラソウ			○

キク科

オヤマボクチとアザミの仲間



オヤマボクチ



サワアザミ

- 林縁に生えるキク科の大型の多年草。秋に変わった形の集合花を咲かせる。ボクチは火口＝葉の綿毛が火つけ材になるから。この毛はそばのつなぎにもなる。根は山ごぼうとして食べられる。
- サワアザミも大型。芽生えは美味しい山菜。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
オヤマボクチ			○
サワアザミ			○

タデ科

タデ・ソバの仲間



ミズヒキ



ミゾソバ



イヌタデ



ハナタデ

- ミズヒキは、お城の林床に生え60cm位になる多年草。秋に繊細な赤と白の花が並ぶ。紅白でおめでたいから水引。
- 同じタデ科のミゾソバは名のとおり水辺に繁茂する。
- 明るい草地や道端に生えるイヌタデは、おままごとのあかまんま。林内に生えるイヌタデに似た花はハナタデ。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城址
ミズヒキ		○	○
ミゾソバ		○	○
イヌタデ	○	○	
ハナタデ		50	○

サカキ科

ヒサカキ



初夏落葉前に紅葉



秋に黒い実
を生らせる

- 二の丸の井戸のそばの常緑の小高木。
- 春に甘い香りの小さな花が咲き、秋に黒い実がなる。果汁は黒く、昔はインク遊びに。
- 枝はサカキと同様、玉ぐしとして供えられる。初夏に一部の葉が紅葉し、そのため「緋櫛」か？

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城址
ヒサカキ			○

ツタウルシとハゼノキ・ヤマウルシ



ツタウルシ



ハゼノキ



ブドウ科 ツタ

- ツタウルシは、木に絡む大型のつる。ヤマウルシとともにかぶれるから要注意。紅葉が美しい。果実は、油分を含み重要な鳥のえさ。
- 同じ仲間でhillに植えられているハゼノキも同様に果実は蠟の原料となる。実を目当てに小鳥が集まる。
- ヤマウルシは 林内の野生の小高木。名前はウルシだが、漆はとれない。
- ツタは、ツタウルシに似ているが、ブドウ科。鋸歯があることで区別できる。

地域での分布 種名	せんだんのhill	上和田キャンプ場	増山城址
ツタウルシ			○
ハゼノキ		○	
ヤマウルシ			○
ツタ	○		○

シソ科

ムラサキシキブとコムラサキ



ムラサキシキブ



コムラサキ

- 林内に生える低木。初夏の花は繊細。秋には紫色の実になる。タネは微小だが、実生、さし木と増やしやすい。
- 材木は太くならないが、緻密で磨けば艶が出る。箸やスプーンなどカトラリーに適する。
- hillにたくさん実を生らせるコムラサキが植栽されている。各家庭に植えられているのはほとんどこれ。県内には自生しない。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ムラサキシキブ			○
コムラサキ	○		

ヤマノイモとオニドコロ・タチドコロ



ヤマノイモ



オニドコロ



タチドコロ

- いずれも林縁など明るい場所に生えるつる性の多年草。
- ヤマノイモは、とろろ芋やむかごが採れる山の恵み。
- ヤマノイモは葉が茎に対に付き（対生）、互生のオニドコロ、タチドコロと区別できる。オニとタチの区別は難しい。
- オニドコロも民間薬となる。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
ヤマノイモ		○	○
オニドコロ		○	
タチドコロ			○

ヤブコウジとカラタチバナ

アカネ科 ツルアリドオシ



ヤブコウジ



ツルアリドオシ



カラタチバナ

- ヤブコウジ・カラタチバナは常緑低木。林床に生える。柑子（こうじ）や橘は柑橘のこと＝やぶのみかんの意。
- 常緑で秋から冬に赤い実を生らせる草木は縁起もよいので、お宝の名前が付く。一両はアカネ科ツルアリドオシ。十両がヤブコウジ。百両がカラタチバナ、センリョウ（セリョウ科）・マンリョウ（サクラソウ科）は呼び名のまんま。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
ヤブコウジ			○
ツルアリドオシ			○
カラタチバナ			○

地域の仲間

針葉樹の高木



針葉樹に被われるお城の歩道



在来品種マスマスギ



紅葉のメタセコイア

- 増山城址には、主にスギが植えられ、大木になっている。タテヤマスギのほかに地元生まれで建具に適するマスマスギや高岡生まれで成長の速いボカスギなどの品種が含まれる。
- 他に、高級建築材のヒノキ、軽くて桶などになるサワラ、仏具になるモミ、耐久性の高いヒノキアスナロ（アテ）がある。キャンプ場には、落葉針葉樹のメタセコイアが植えられ、秋には紅葉が美しい。
- イチョウ・イチイがhillに植栽されている。イチョウは銀杏をたくさん落とす。

ヒノキ

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャ ンプ場	増山城 址
スギ・ヒノキ・ サワラ・モミ・ ヒノキアスナロ			○
メタセコイア		○	
イチイ・イチョウ	○		

広葉樹高木



ホオノキ（左）



ケヤキ



オニグルミの花



エノキ



シロダモ



ハンノキ

- 増山城址にはスギなどの針葉樹が多いが、その中に広葉樹が混ざり、四季の森を彩る。
- 落葉のホオノキ・エノキ・ケヤキ・ヤマトアオダモ・ケンポナシ・イイギリ、カラスザンショウのほか、常緑のシロダモがある。
- ホオノキは、甘い香りの花が美しく、大きな葉は食物をくるんだり、お面として遊んだりできる。ヤマトアオダモは「バットの木」。シロダモは赤い実が鮮やか。
- キャンプ場の水辺にはハンノキ・オニグルミが生育し、サトザクラ・ソメイヨシノ等が植えられ、春を彩る。オニグルミの実は、食べたり、木材を磨いたりできる。ハンノキは草木染の染料となる。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
ホオノキ・エノ キ・ケヤキ・シ ロダモなど			○
オニグルミ・ハ ンノキ・サクラ 類		○	
ハゼノキ・コナ ラ・シラカシ・ ゲッケイジュ	○		58

タケ・ササの仲間



お城のモウソウチク



ヤダケ



チマキザサ



マダケ



メダケ

- 慣例的にモウソウチクとマダケが竹、ヤダケ・メダケ（シノダケ）・ネザサ・チマキザサが笹の仲間。
- マダケはざるなどの器具、モウソウは器具や筍、ヤダケは名の通り矢、メダケは器具・篠笛、チマキザサは、ますのすしやちまきなどに使用されている。

地域での分布 種名	せんだん のhill	上和田キャン プ場	増山城址
モウソウチク			○
マダケ		○	
メダケ		○	○
ヤダケ		○	
チマキザサ			59 ○

シダの仲間



クジャクシダ



シシガシラ



ベニシダ



リョウメンシダ



オオハナワラビ



コウヤワラビ

- 花は咲かず胞子で増える草たち。梅檀野周辺には20種以上生育する。似た種が多く分類が難しいが、特徴的なものは覚えやすい。
- 林床には、食べられるゼンマイ、繊細なリョウメンシダ・クラマゴケ、葉が十字に交わるジュウモンジシダ、美しいクジャクシダ、新芽が赤いベニシダ、大柄なサカゲイノデ・イヌガンソクなど。シダ類は湿った場所に多いが、シシガシラは林内のやや乾いた場所で生える。
- 草地には、ワラビ・スギナ（ツクシ）・オオハナワラビ、湿地にはクサソテツ（コゴミ）やコウヤワラビ、木の幹に着生するのは、カニクサ、ノキシノブ。

地域での分布 種名	せんだんの hill	上和田キャン プ場	増山城 址
クジャクシダ・ リョウメンシ ダ・シシガシ ラ・ベニシダ・ ゼンマイなど			○
オオハナワラ ビ・コウヤワラ ビ・クサソテツ など		○ 60	